

経理適正化に向けて

昨年5月の神戸市経理適正化外部検証委員会の提言を踏まえ経理適正化に向けた制度や仕組みがスタートしたが、これらの様々な取組みや制度が形骸化することなく組織風土を改善し、不適正な経理処理の再発防止の徹底につながるかどうかは、今後の全部局、全職員の意識や姿勢にかかっている。

経理適正化外部評価専門委員からいただいた貴重なご意見、ご提案を真摯に受け止め、今日決定した取組方針に基づき、前例踏襲に陥ることなく全力で取り組んでいただきたい。

また、各局室区におかれては、取組方針のもと経理適正化の取組を強力に推進いただくことはもちろん、あらためて提言を含む不適正経理の再発防止策の意義、市民に託された公金を扱っていることの責任の重さを所属職員全員に徹底いただきたい。

提言にもあるが、コンプライアンスを組織の命題とし、強い危機感を持って、不断の改善に取り組み、二度と不適正な経理処理を発生させない組織への再生ができるかどうかの真価が問われている。皆さんにおかれては、不適正な経理処理の再発防止、コンプライアンスの徹底について局室区をしっかりとマネジメントいただくよう重ねてお願いしたい。

平成24年6月4日 市長 矢田立郎